

- 問1 東京23区の人口統計では、夜間の人口よりも昼間の人口が非常に多いという特徴があります。また、事業所数や大学数が非常に多いというデータも確認できます。このような人口の移動が起こる背景として、最も適切な説明はどれですか。周辺の埼玉県、千葉県、神奈川県などの状況をふまえて答えなさい。 (2016年 三重県公立入試 類似)
1. 少子高齢化の影響により、都心部で働く現役世代が不足したため、周辺の県から高齢者がボランティア活動のために流入しているため。

2. ドーナツ化現象によって都心部の夜間人口が急増し、それに対応するために周辺の県から食料や物資を運ぶ人が増えたため。

3. 都心部に官公庁、企業、大学などの都市機能が集中しており、周辺の県から多くの人々が通勤・通学してくるため。

4. 都心部の再開発によって大規模な住宅団地が次々と建設され、周辺地域から夜間に帰宅する人々が急増したため。
- 問2 関東地方の北部に位置する群馬県のように、日本の都道府県の中には「県名」と「県庁所在地の名称」が異なるものが存在します。群馬県の県庁所在地である都市名として正しいものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 高崎市

2. 水戸市

3. 前橋市

4. 宇都宮市
- 問3 関東地方にある4つの都県の統計において、製造品出荷額が約17兆円と極めて高く、情報通信業の事業所数が258、漁獲量が290トンとなっている県はどこですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 埼玉県

2. 千葉県

3. 東京都

4. 神奈川県
- 問4 東京23区の住宅地の平均価格が約49万円/m²であるのに対し、周辺の埼玉県や千葉県、神奈川県では20万円/m²未満となっています。このような地価の差を背景として、周辺3県から毎日合計240万人以上の人々が東京23区へ流入している状況について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
1. 地価の低い周辺の県にオフィスや学校が集中しているため、東京23区から周辺の県へ向かう通勤・通学者の方が多く、昼間人口が減少する。

2. 住宅価格が高い都心部を避けて周辺の県に住み、そこから通勤・通学する人が多いため、東京23区の昼間人口が夜間人口を大きく上回る。

3. 東京23区と周辺の県での地価の差が縮まっているため、通勤・通学による人口の移動が減少し、昼間人口と夜間人口がほぼ等しくなる。

4. 住宅価格が高い都心部で働くために周辺の県から移住する人が多いため、東京23区の夜間人口が昼間人口を大きく上回る。
- 問5 千葉県は、京葉工業地域を中心とした製造業が盛んな一方で、農業も非常に活発です。特に野菜の産出額が全国的に高い水準にありますが、このように大消費地である都市の周辺で行われる、新鮮さが求められる野菜などを生産する農業の形態を何と呼びますか。 (2024年 新潟県公立入試 類似)
1. 適地適作

2. 抑制栽培

3. 促成栽培

4. 近郊農業
- 問6 東京の南約1000キロメートルに位置する父島や母島などの島々からなり、第二次世界大戦後はアメリカの統治下に置かれていましたが、1968年に日本に返還された地域はどこですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)
1. 奄美群島

2. 伊豆諸島

3. 沖縄諸島

4. 小笠原諸島
- 問7 関東平野の台地の大部分を覆っている、富士山や箱根山などの火山から噴出した火山灰が降り積もってきた赤土の層を何といいますか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 関東ローム

2. 沖積土

3. 風成砂丘

4. シラス台地
- 問8 栃木県の地理的な位置関係や特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2020年 三重県公立入試 類似)
1. 関東地方の南部に位置し、東京都や神奈川県と隣接する人口密度の非常に高い県である。

2. 関東地方の西部に位置し、日本海側と接することで冬場には多くの降雪が見られる。

3. 関東地方の北部に位置する内陸県であり、日光などの歴史的な観光地を擁している。

4. 関東地方の東部に位置し、太平洋に面した広大な海岸線と港湾を持っている。
- 問9 北関東工業地域が、内陸部を中心とした立地でありながら、機械工業を中心に発展を続けている背景を説明したものととして、最も適切なものはどれか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から輸入した鉄鉱石や石炭を直接工場へ運び込めるようになったため

2. 古くから続く製糸業の伝統を活かし、絹織物の技術を先端的な半導体製造へと直接応用させたため

3. 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため

4. 利根川などの豊富な水資源を背景に、電力消費が激しい鉄鋼業や石油化学コンビナートが集中したため
- 問10 東京都、埼玉県、茨城県の人口動態をまとめた資料において、埼玉県の「昼夜間人口比率」が100%を下回っている状態を正しく解釈したものはどれか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 昼間に県内の工場や商業施設で働く労働者の数が、夜間に県内で消費活動を行う人の数を超过している。

2. その地域に住んでいる「夜間人口」よりも、仕事や通学のために滞在している「昼間人口」の方が少ない。

3. 県外から転入してくる人の数よりも、県外へ転出していく人の数の人が多い「社会減」の状態にある。

4. 15歳未満の「年少人口」が、65歳以上の「老年人口」の割合を大きく上回っている。
- 問11 関東地方の各都県にまたがる台地の自然環境と土壌について述べた文として、最も適切なものを選択してください。 (2026年 福島県公立入試 類似)
1. 利根川などの河川が運んできた土砂が堆積してきた、水田に適した粘土質の土壌が台地の大部分を占めている。

2. 九州地方南部に広がる、大規模な火砕流による火山灰が堆積してきたシラス台地が形成されている。

3. 西日本に多く見られる、花こう岩が風化してできた「まさ土」と呼ばれる水はけの良い砂状の土が広がっている。

4. 富士山や箱根山などの火山灰が堆積してきた、関東ロームと呼ばれる赤色の土層が台地を広く覆っている。
- 問12 生産農業所得統計のデータによると、関東地方は農業産額が2兆円を超える国内最大規模の農業地域であり、その内訳において「野菜」が占める割合が約41.5%と非常に高いことが特徴です。このように関東地方で野菜の生産割合が高くなっている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 大消費地に近い利点を活かし、鮮度が求められる作物を効率よく供給できるため

2. 山がちな地形を活かして、水はけの良い傾斜地で果樹栽培に特化しているため

3. 広大な十勝平野のような土地を活用し、大規模な機械化による生産を行っているため

4. 冬でも温暖な気候を利用して、他の地域よりも出荷時期を早める工夫をしているため